

9-5(30)

黄連解毒湯による未熟型骨髄腫細胞の増殖抑制作用と維持療法への有用性

馬 梓、劉 尚勤、大津山賢一郎、Saeid Abroun、李 富君、鄭 旭、槇泰子、津山尚宏、小幡雅則、石川秀明、河野道生

山口大・院・医学研究科・生体シグナル解析医学

漢方薬の中から、骨髄腫細胞株 (U-266, IL-KM3, NOP-2, AM01 等) の増殖を抑制あるいはアポトーシスを誘導し得るものを抽出し、さらに患者骨髄腫細胞の増殖抑制を示すものを抽出した。検討した中で、黄連解毒湯が最も強い増殖抑制作用を示した。黄連解毒湯から黄芩 (huangqin) を除いたものは、骨髄腫細胞株の増殖抑制作用が著しく減弱した。黄芩そのものは、強く増殖抑制作用を示した。以上より、黄芩に含まれるフラボノイド (バイカレイン、バイカリン) による増殖抑制作用と考えた。黄連解毒湯は、患者骨髄腫細胞、特に MPC-1-未熟型骨髄腫細胞により強い増殖抑制作用を示した。実際、1 症例に維持療法として使用した効果を提示する。